

第21回 H2&FC EXPO 国際水素・燃料電池展

山梨県ブース設営業務仕様書

1 目的

本県は、「山梨大学水素・燃料電池ナノ材料研究センター」をはじめ、「HySUT（ハイサット）水素技術センター」、「企業局米倉山電力貯蔵技術研究サイト」、「産業技術センター」が立地し、更には令和4年度には燃料電池の評価研究機関である「FC-Cubic」が全面移転するなど、水素、燃料電池、インフラと多様な研究評価機関の一大集積地となっている。

産業振興面では、山梨大学の研究成果の県内企業への技術移転、人材養成講座、研究開発・販路開拓支援など水素・燃料電池関連産業の育成・集積に取り組んできた結果、参入企業数は増加するとともに、山梨大学と県内企業の共同研究成果が実を結ぶなど、基幹産業化の芽が出つつある状況。

そこで、水素・燃料電池分野における本県のイメージや認知度の向上を図るとともに、県内企業の取引拡大を支援するため、本分野において世界最大の展示会である国際水素・燃料電池展へ山梨県ブースを出展する。

2 委託期間

契約の日から令和6年3月22日まで

3 委託業務の内容

「第21回 H2&FC EXPO 国際水素・燃料電池展」における山梨県ブース全体の装飾デザイン及びレイアウトの企画並びに制作、設営及び撤去

<出展概要>

- ①会 期 令和6年2月28日（水）～3月1日（金）
- ②会 場 東京ビッグサイト
- ③ブース面積 15m×4.32m=64.8㎡（小間位置は別紙レイアウトの青囲み部分）
- ④出展社数 民間企業公募枠 7社（予定）
民間企業（山梨大学共同研究）3社
山梨大学
山梨県企業局 計12社（予定）

(1) 山梨県ブースの設計・設営・撤去業務

- ① 誘客効果が高く、かつ、ブース全体として統一感を持たせるとともに、「山梨県らしさ」を表現すること。
- ② デザイン性に優れ、耐候性・耐久性のあるものを製作すること。
- ③ 来場者が立ち寄りやすく、かつ、出展企業が効率よく積極的なPRができる配置と

すること。

- ④ 展示会開催期間中は、会場内に待機し、急な変更等に対応すること。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染症対策を講じること。(山梨県内で開催する場合と同様の対策を講じること。)
- ⑥ ブース内に商談スペースを3箇所以上設けること。
- ⑦ 出展企業の展示スペースの目安は以下のとおりであり、県及び出展企業と協議のうえ、レイアウトすること。
 - ・ 民間企業公募枠7社及び山梨大学
各横1,200mm×縦600mm以上とし、出展企業と協議して決めること。
 - ・ 民間企業(山梨大学共同研究)
以下の大きさの製品の展示に必要な面積(別にA1版ポスターが各社2枚)
(A社) ガス拡散層一体型金属セパレータ:縦300mm×横600mm
(B社) 自転車:縦1,605mm×横580mm
非常用電源:縦550mm×横322mm×高さ320mm
スタック:縦194mm×横357mm×高さ69mm
(C社) 静電塗工装置:縦800mm×横1,200mm×高さ1,800mm
 - ・ 山梨県企業局
A1版ポスター 3枚
- ⑧ 出展企業の展示スペースの内容は以下のとおりとすること。
 - ・ 社名板、解説パネル(A1版2枚。デジタル機器の活用も可。)は、統一のデザインで作成、設置すること。
 - ・ 各社の製品を設置する展示台及び紹介するパネル、パンフレットラック、貴名受けを設置すること。
 - ・ 社名板、解説パネルは出展企業と連絡・調整のうえ作成すること。
- ⑨ ブース内にバックヤードを設けること。
- ⑩ ブース内に大型ビジョン(50インチ以上)を設置し、展示企業の持参するPR動画を放映できるようにすること。
- ⑪ ブース内にプレゼンブースを設置し、希望する出展企業が交代でプレゼンを実施できるようにすること。
- ⑫ 展示会主催者との連絡調整(主催者への展示に係る書類提出等)を行うこと。

※ 床面施工費(カーペットなど)、システム什器(柱、パネル、壁)、レンタル備品(机、いす等)、壁面、グラフィック出力代金、デザイン費、造作費用、クロス施工費、照明レンタル費、二次電気工事、搬入・施工費、撤去費、搬出撤去費、ごみ処分費、設計、デザイン費など、一連の経費が含まれます。

※ PR動画については、昨年度のFC EXPOで使用した動画を活用しますので、今回の企画提案書での提案は不要です。

(2) 山梨県ブース共同出展企業との連絡調整業務

- ① 出展企業に対して、出展に係る説明会を開催すること。
- ② 各出展企業のサイン、解説パネルの内容について、各出展企業と協議すること。
- ③ 各企業の情報を掲載した全体パンフレットを作成すること（2500部）。パンフレットは和文と英文とし、英訳は受託者において行うこと。
- ④ 展示内容、展示方法について出展企業と協議すること。
- ⑤ 各出展企業の展示物を、出展企業から展示会場に搬送するとともに、展示会終了後は、展示会場から出展企業へ搬送すること。（通常の宅配便で輸送できないものを除く。）

(3) 通訳者の手配業務

山梨県ブースに来訪する外国人バイヤーへ対応できる通訳者を手配すること。

- ① 配置時間 令和6年2月28日～3月1日 毎日10時～17時
- ② 通訳言語 英語
- ③ 手配人数 1人

4 完了報告書

受託者は、委託期間が終了する前に、業務の実施内容を記載した委託業務完了報告書（様式自由）を提出すること。

完了報告書には、ブースの写真、展示会や商談の様子などを示す写真、製作又は調達した物品一覧、製作図（平面図・立面図）、作業打合せ記録等を添付すること。

5 その他

- ① 出展の申し込みは県で行い、小間料金（出展社検索サイト掲載料含む。）は県が支払う。
- ② 本業務の実施にあたっては県と十分に協議、連絡を取り、その指示及び監督を受けること。
- ③ 展示会主催者の定める展示会規約等に従うこと。
- ④ 本業務により制作された成果品の一切の著作権（著作権法第27条及び第28条の権利を含む。）は、全て山梨県に帰属する。
- ⑤ 成果品については、第三者の知的財産権を侵害していないことを保証すること。第三者が有する知的財産権の侵害の申立を受けたときには、受託者の責任（解決に要する一切の費用負担を含む。）において解決すること。
- ⑥ 本業務の遂行上知り得た情報等を、第三者に漏洩してはならない。また、委託業務の目的以外に利用してはならない。
- ⑦ 本仕様書に疑義が生じたとき、又は本仕様書に定めのない事項については、その都度、県と協議してこれを定めるものとする。

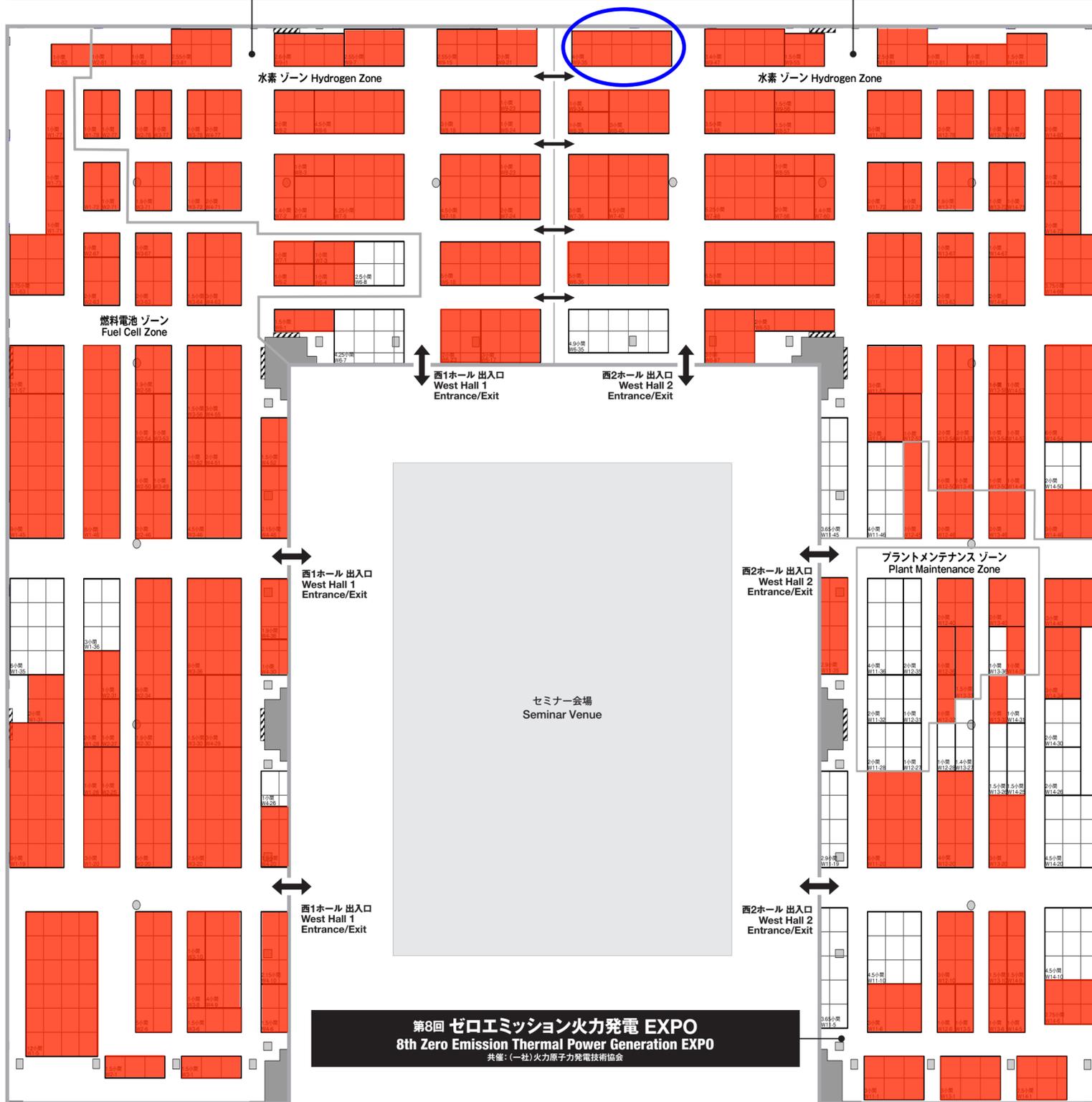
スマートエネルギー Week 春 2024 World Smart Energy Week 2024 March

第4回 脱炭素経営 EXPO 春 4th DECARBONISATION EXPO March

第2回 サーキュラーエコノミー EXPO 2nd Circular Economy EXPO

第21回 H2 & FC EXPO 春 国際水素・燃料電池展

共催: (一社)水素エネルギー協会/(一社)燃料電池開発情報センター



第8回 ゼロエミッション火力発電 EXPO 8th Zero Emission Thermal Power Generation EXPO

共催: (一社)火力原子力発電技術協会

第13回 WIND EXPO 春 国際風力発電展

共催: (一社)日本風力発電協会



小間位置確認欄 Booth Location Confirmation Form

小間番号: Booth Number:	小間数: Number of booth(s):
角小間数: Corner:	ブース内柱: Pillar booth: 有・無 Yes・No

<署名欄>

日付:
Date: _____

氏名:
Name: _____

貴社名:
Company Name: _____

事務局担当:
Show Management

* "小間" stands for booth(s).
 ※ 展示会との境界に壁はありません。全体レイアウトは変更する可能性があります。
 ※ は東京ビッグサイトのサインボードを表しています。装飾は3.5m以下でお願いします。
 ※ は会場内柱になります。
 ※ 主催者は様々な都合により、小間図面を変更し、小間を再割当する権利を有しています。よって、お申し込み頂きました場所は変更になる可能性があります。あらかじめご了承ください。
 - There are no walls separating exhibitions. The layout and lines of exhibitions are subject to change.
 - is a display of Tokyo Big Sight, so the booth construction must be lower than 3.5m.
 - indicate pillars.
 - Show Management reserves the right, in the interests of optimum traffic control and effective exhibit exposure, to change the exhibit space plan and reassign exhibit spaces in relation thereto.